

# 訪問看護 スマイル通信

Vol. 93 R3. 7

遅れていたコロナワクチン接種も何とか進みつつ。私達スタッフ全員、完了しています。ワクチンの大きな効果、期待します！そしてオリンピックの無事を祈ります！



## K様のおはなし 先月号に続き…

あれから数日後、K様（90歳代後半・女性）はお亡くなりになりました。

ベッドに寝たきりとなって10日後のことでした。時折、フルーツやヨーグルトなど数口召し上がり、声掛けに開眼され、うなずいてくださるK様。唯一のリクエストは「トイレに行きたい」と。

思えばトイレの後に力尽きて動けず緊急訪問したり、便座へ移る際に転倒されたのがきっかけで寝たきりに。ポータブルトイレはすぐに手配され、娘様はオムツでとお考えでしたが、K様はオムツやポータブルトイレでは排尿されず、夜中にトイレまで行こうとされたり、起き上がるのがやつの状態でも「トイレで（排尿）したい。行けるよ。」とおっしゃり…

以前『最後までトイレは自分で行きたい』とおっしゃっていたのを、私達はすぐに思い出していました。

主治医も「好きにさせてあげてください」と。K様のご希望に沿い、可能な限りトイレまで介助しました。

衰弱が進み、おのずとポータブルトイレに。娘様一人では介助が困難で、訪問時にポータブルトイレへと。座ると同時に排尿され、すっきりされたご様子。摂取量が少ないため排尿も1日1回あるかないかですが、便座に座るまで我慢されているご様子でした。娘様からも「しきりに『トイレ』と訴えがあつて」と。

すでに血圧低下の兆し。翌日さらに血圧低下。オムツ内に排尿されていました。いよいよかも… 😞

退室して3時間後、息を引き取られたと娘様からご連絡をいただき、K様に会いにいきました。

とても穏やかなお顔でした。親族の皆様にかこまれ、悲しい中にもどこか清々しい空気。

痛みも無く、娘様にお世話されながら住み慣れた家で静かな終わりを迎える。自然の流れに身を任せて。

適切な言葉が思いつきませんが『とても良い最期』だと感じました。

また、最後までトイレでの排泄を貫かれた姿に、K様の生き方というか尊厳に触れた気がしました。

「母の望んでいたとおり、自室で最期まで過ごすことができたのは皆様のおかげです…」と、

娘様から感謝のお言葉をいただきました。身に余る思いでした。

これからも『尊い最期』を支えられるよう頑張りたいです。誇りを持って。

## 365日平日料金にて訪問いたします！

「気管切開」 「人工呼吸器装着」 「吸引」 「入浴介助」

「健康管理」 「服薬管理」 「腹膜透析」 など、

どのような内容でも大丈夫です！

ぜひご連絡ください！



訪問看護ステーション スマイル

 <http://houmonsmile758.web.fc2.com/>



(052) 680-9761



(052) 680-9762

